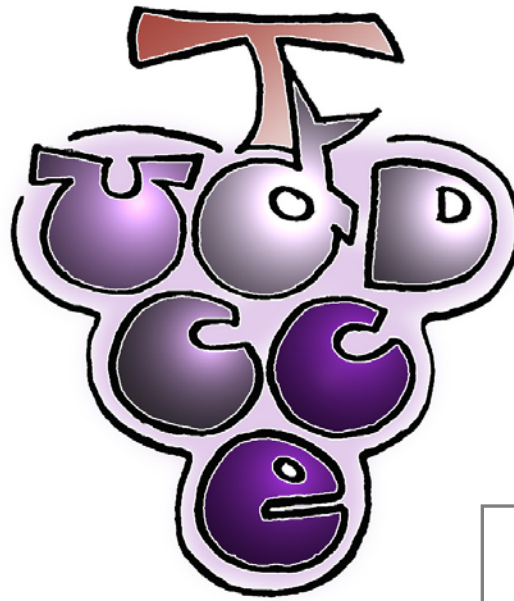


MIS32 *Staphylococcus aureus* (黄色ブドウ球菌) の特徴

黄色ブドウ球菌の主な代謝産物

1. TSST-1
2. 皮膚剥脱毒素
3. 溶血毒
4. DNase
5. クランピングファクター
6. コアグララーゼ
7. エンテロトキシン



黄色ブドウ球菌は他のブドウ球菌と異なり、コアグララーゼを産生するという特徴がある。また、黄色ブドウ球菌が起こす様々な疾患は多くの代謝産物によるものだ。特に食中毒は耐熱性の毒素(エンテロトキシン)により発症する。一旦この外毒素が産生されてしまったら、加熱によって活性を失わせるのは超困難。

ブドウの粒等	意味	病原性・作用	重要度
T	TSST-1 (毒素性ショック症候群毒素-1)	スーパー抗原 毒素性ショック症候群[TSS](発熱・頭痛・嘔吐・下痢・疲労感、ショック症状)を引き起こす	☆☆
ひ	皮膚剥脱毒素 (exfoliatin, exfoliative toxin)	スーパー抗原 熱傷様皮膚症候群[SSSS](皮膚剥脱・発熱・衰弱→宿主の易感染化)を起こす	☆☆
よ	溶血毒(hemolysin)	赤血球溶血素	☆
D	DNase(ディーエヌアーゼ)	核酸分解酵素	☆
C	Clumping Factor (クランピングファクター)	フィブリンを析出させる	☆☆
C	Coagulase(コアグララーゼ)	ウサギ・ヒトの血漿を凝固する酵素 ★黄ブ菌の鑑別点として重要!	☆☆☆
e	enterotoxin(腸管毒)	スーパー抗原 耐熱性外毒素 →毒素型食中毒	☆☆☆

スーパー抗原(superantigen):通常の抗原性を超えてT細胞を活性化する可溶性タンパク

TSST-1:Toxic shock syndrome toxin 1

TSS:Toxic shock syndrome

SSSS:Staphylococcal Scalded Skin Syndrome